

令和7年度

教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	6412	学校名	華陽フロンティア高等学校（通信制）
------	------	-----	-------------------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	生徒の多様性を尊重し、生徒の学びを保障する通信制高校として わかる喜びを感じられる学習支援を通して 自己肯定感と自己有用感を高め、社会的に自立した人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	1 高校生としての基礎的・基本的な知識や技能と主体的に学習する意欲や態度を身に付けさせ、生徒一人一人の個性を伸ばし、心豊かでたくましく生きる力を育む。 2 社会の規範を守る態度を養い、地域社会の一員としての自覚を高める。 3 健康で安全な生活を送るため、基礎体力の向上を図り、健康な心身の保持増進に努める態度を育む		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	・ 基礎的・基本的な知識や技能を身につけた生徒 ・ 主体的に学習する意欲や態度を身につけた生徒 ・ 心豊かでたくましく生きる力を身につけた生徒	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	・ 「わかる喜び」の涵養（学びの「再チャレンジ」） ユニバーサルデザインを意識した授業／ICT機器の積極的な活用／半期ごとの単位認定 ・ キャリア教育の推進 「コミュニケーション能力」の向上／社会的、職業的自立の支援 ・ 「カウンセリングマインド」に基づく積極的傾聴（共感的理解・無条件の肯定的関心・自己一致）	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	・ 「自分の生き方」を真剣に考え、やると決めたことはあきらめない生徒 ・ 「なりたい自分」を見つけないと願っている生徒 ・ 自分にも、周りにも、優しい言葉をかけてあげられる生徒	
学校の抱える課題	・ 一人ひとりの生徒の生育歴や学習歴に配慮した指導（自信や見直しのもてる指導） ・ ICT機器を活用しての学習支援、オンラインでの面接指導・metamoji等を利用したレポート提出への推進 コミュニケーション能力の育成（SSTの推進・マナー指導） ・ 特別な支援が必要な生徒（発達障がい等）への対応 ・ 進路意識の向上（早期からのキャリア教育強化、計画的、継続的な進路指導、外部機関との連携）		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	・ 生徒が学ぶ意義を知り、わかる喜びを感じることのできる学習指導の推進 ・ すべての学習活動を通して実践するソーシャルスキルやコミュニケーション能力の育成	
	進路指導	・ 望ましい勤労観を形成するためのキャリア教育の充実と進路目標実現に向けた支援の充実 ・ 職場や地域社会で多様な人々と協働するためのソーシャルスキルの育成	
	生徒指導	・ 社会規範を守る主体的態度を育成 ・ あらゆる学校活動を通して「人とつながる力」、他者を受け入れ、他者と協働できる力を育成	
	教員研修	・ 自立活動の授業見学と実践に向けての研修 ・ 働き方改革と業務見直しのためのICT活用推進	

年 度 目 標				年 度 末 評 価 (自 己 評 価)			
領域 分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	人間関係の構築のためのT P Oに応じた言葉遣いや態度の育成、学校やクラスへの帰属化を図る指導します。	施策Ⅰ-1	・ 生徒による授業評価の分析 ・ レポートアンケート結果の分析 ・ 学習指導、添削指導にかかわるアンケートで、肯定的な評価80%以上 ・ 面接指導参観や公開面接指導における、評価の確認 ・ 卒業生徒の進路実現の度合い（コミュニティボ自立3年） ・ manaba利用状況の確認				
	報告課題の電子提出・添削の推進と生徒による学習状況の管理、ICTを活用した自宅学習の充実を図ります。	施策Ⅱ-9					
	「総合的な探究の時間」（1年次）、自立活動（2年次）・（3年次）の継続的な実践します。	施策Ⅳ-21					
	学びの機会の提供と広報します。（4月と10月の転入学・編入学、社会人特別講座、定通併修生の受入れ）	施策Ⅳ-23					
進路指導	将来の自己のあり方や働くことの意義を主体的に考えることができる機会の提供に努めます。	施策Ⅱ-13	・ 学校評価アンケートの進路指導、学校行事の項目での肯定的な評価の割合、行事後実施のアンケートの回答状況を確認				
	地域の産業を担う人材育成の観点から、外部人材活用や関係機関との連携の充実を推進します。	施策Ⅱ-14					
	多様な他者との活動を通して、コミュニケーション能力や自己表現能力の向上を図ります。	施策Ⅰ-1					
	継続的な教育相談と家庭との連携を通して、個々の特長などの把握に努め、その伸長を図ります。	施策Ⅰ-7					
生徒指導	学校という社会を構成する一員として、常に他者の立場に配慮し、みなで「安心安全」な学校をつくっていくために必要な行動を自らの主体的判断によって選択できる生徒を育てます。	施策Ⅰ-1	・ 校内の全体的な状況（各学年会から報告される生徒動向等）、各種アンケートの回答状況分析 ・ 個別の支援計画が適切に実施されたかを、保護者との面談結果、指導方法の評価等から確認 ・ 各種活動等への参加率や取組状況、生徒の事後アンケートの結果で確認				
	個々の教育的ニーズに応え、カウンセリングマインドをもって生徒と接します。各学年会との密な情報共有、家庭・SC・SSCと連携しながら個別の支援計画を活用し、個別支援を充実させます。	施策Ⅰ-3					
	学校行事や生徒会活動、部活動等を通して仲間の大切さや仲間を思いやる気持ち・態度を身に付けさせ、他者と協調して社会をつくろうとする生徒を育てます。	施策Ⅰ-1					
教員研修	ICT活用によるレポート添削や新しい授業スタイルの実践、教員の業務効率化を目指します。	施策Ⅱ-9	・ MetaMoJiレポート提出の利用状況、授業活用事例 ・ 校内研修会実施後の感想等 ・ 自立活動の授業見学記録とまとめ ・ 校内研修会での意見・提案の考察				
	ワーキンググループの活動を職員に還元する校内研修の実施します。	施策Ⅳ-20					
	全職員が自立活動の指導ができるように授業見学等の実施します。	施策Ⅳ-21					
	業務内容や業務に係る負担を絶えず見直す校内研修の実施します。	施策Ⅳ-27					